

傍聴のこえ



9月定例会を傍聴していただいた
方々の感想です。(抜粋)

◆傍聴者の人数が少ない。これは、広報活動の不足によるものではないだろうか。少なくとも行政のテレビがある地域は議会傍聴のお知らせを放送すべきである。

◆中学生に課外授業として、議会傍聴に参加させてはどうか。

◆各分野への調和のとれた予算配分と目に見えない力(創造力、思いやり、少数意見に耳を傾ける等)に力を入れていってほしい。将来的な佐渡の人的パワーにつながることに洞察を持って市政に携わってほしい。

◆一般質問が5日間は地方議会においては長い。市民は一日も早い議員削減を望んでいる。少なくとも全員協議会で4日間に縮小すべき。

◆抽象的な表現よりも具体性を持った実例をあげての活動に重視・重点をおいて掲載してほしい。

◆議会報大変良く出来ています。行政(旅行)視察はもっと立派な(細かく)報告が必要。

定例会ごとに、傍聴入り口にアンケート用紙を設置しますので、ご意見・ご要望をお寄せください。



編集後記

9月下旬、浜河内集落センター「わか鮎」で、「弱いことってすてきな」言う講演会があった。講師は脳に重い障害を持つ人たちと共同生活をされている方だった。彼らと生活していると「人としての、本当のやさしさとは何かをいつも考えさせられる」と話していた。

彼の施設では、利用者・介助者という呼び方はしないらしい。今の社会は、保障は確立されつつあるが、福祉は切り捨てられていると、彼は強い口調で話した。弱者と支えあって生きる社会は、文化を大切にする社会だとも述べた。

佐渡では、観光低迷の原因に「おもてなしの心」が島民全体に足りないのだとよく言う。島民に今一番求められているのは島の各地域に残る伝説・文化を愛し、大切にすることだろう。それを呼び起こせば人に優しく、おもいやりのある「文化の薫る、おもてなしの島」に生まれ変わるのではないだろうか。

大石惣一郎 記

お知らせ

議会情報は、佐渡市ホームページからもご覧になれます。また、議会についてのご意見、議会だよりを読んだ感想をメールでも受け付けています。みなさまからのご意見、ご要望をお待ちしています。

ホームページアドレス

<http://www.city.sado.niigata.jp/>

メールアドレス

gikai@city.sado.niigata.jp

おわびと訂正

議会だより第5号13頁「不能欠損額」を「不納欠損額」に、「輪戸徴収」を「臨戸徴収」に、15頁「看護福祉士」を「保健師」に訂正しておわびします。